

Hem21

NEWS

公益財団法人
ひょうご震災記念21世紀研究機構
ニュース

「Hem21」は、ひょうご震災記念21世紀研究機構の英語表記である
Hyogo Earthquake Memorial 21st Century Research Instituteの略称です。

VOL. **58** 平成28年
(2016) 7月

CONTENTS

- 1 平成28年度研究体制とミッション
- 2 平成27年度研究成果報告会に係る報告と告知
- 3 HAT掲示板
- 4～5 情報ひろば
- 6～8 人と防災未来センター
MIRAI

管理部

研究調査本部

人と防災未来センター

こころのケアセンター

学術交流センター

平成28年度 研究体制とミッション

当機構の平成28年度研究体制をご紹介します。研究調査本部では、防災・減災の社会づくりに資するとともに、21世紀文明のあり方について研究し、国内外の政策形成に情報発信すべく、研究調査の推進を図っていきます。

研究テーマと担当研究員

(1) 自主研究テーマ

① 「東日本大震災復興の総合的検証」

紅谷 昇平 主任研究員 高森 順子 嘱託研究員

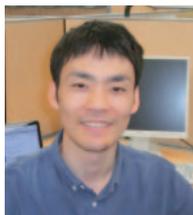
東日本大震災の「集中復興期間」である5年間の復興プロセスを、阪神・淡路大震災における復興検証の実績を参考にしつつ総合的に検証し、被災地の復興上の課題やその解決方策を明らかにする。それによって、東日本大震災被災地の円滑な復興はもとより、来るべき大災害から国家や地域社会を衰退に陥らせないための創造的復興の実現に向けた政策提言を行う。



② 「南海トラフ地震に対する復興のグランドデザインと事前復興計画のあり方」

磯村 和樹 研究員

発生すれば国家の衰退も危惧される南海トラフ地震に対応するため、被災地域における復興目標とその道筋を盛り込んだ復興グランドデザイン及びその実現のための具体的な取り組みや手順等を明示した事前復興計画のあり方について提言を行う。



③ 「人口減少、少子・高齢化社会におけるライフスタイルと社会保障のあり方について～地域におけるクオリティ・オブ・ライフの実現に向けて～」

米川 安寿 研究員

人口減少と高齢化が急速に進行する中、地域において高齢者が満足のいく社会生活を送ることができるよう、ライフスタイルの視点から、クオリティ・オブ・ライフの実現方策について、社会保障のあり方を中心に、諸外国との比較検討及び兵庫県の地域特性を踏まえた政策提言を行う。



(2) 県要請研究テーマ

① 「女性が活躍する社会づくりのための環境整備のあり方」

「男女がともに、いつでも、どこでも、いきいきと生活できる社会」の実現を図るためには、女性の活躍の一層の推進が不可欠であるが、兵庫県の女性の就業率は全国と比較すると低い。このため、就業における女性活躍や能力発揮のための環境整備や方策につなげるべく、県内の女性の就業を取り巻く環境、意識等について調査・分析し、課題等を明らかにする。

② 「持続可能なコミュニティ形成に向けた地域資源の活用方策の検討～多世代と共創する多自然地域の豊かな暮らし実現の仕組みづくり～」

少子・高齢化と人口減少の進展に伴い、拡大する人口流出は地域資金の域外流出や、資産（住宅、農地、山林）の維持活用の困難さを生じさせている。このため、地域資金を地域の^{なりわい}生業づくりに循環させる“お金の地産地消”を図るとともに、管理不十分な住宅、農地、山林等を地域共通の資産としてコミュニティが主体となって維持管理・有効活用する仕組みについて検討を行う。

平成27年度ひょうご震災記念21世紀研究機構講演会・研究成果報告会 災害時における広域連携支援のあり方シンポジウム ～大規模災害に対応するための自治体連携のあり方～を開催しました

平成24～27年度に実施した研究プロジェクト「災害時における広域連携支援の考察」の研究成果報告会として、大規模災害に対応するための自治体連携のあり方をテーマにシンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは、防災に携わる自治体担当者と学識経験者によるパネルディスカッションを通して、30年以内に高確率で起こるといわれる南海トラフ地震にいかに向き合うべきかについて活発な議論が交わされました。

行政職員、企業、各種団体、大学関係者や一般市民など多数の方々の参加を得て、盛況のうちに終えることができました。

【報告会内容】

▶日 時＝平成28年6月24日(金) 13時30分～16時30分

▶場 所＝ラッセホール

▶参加者＝約190人

▶研究報告

災害時における広域連携支援の考察

報告者：大西 裕(神戸大学大学院法学研究科教授・平成24～27年度公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構政策コーディネーター)

▶パネルディスカッション

第一部：自治体間連携に関する研究報告

報告者：待鳥 聡史(京都大学大学院法学研究科教授)

～自治体間連携を促進する国の制度設計について～

曾我 謙悟(京都大学公共政策大学院教授)

～東日本大震災において生じた自治体間の連携体制の現状と課題～

善教 将大(関西学院大学法学部准教授)

～自治体間の支援協定の有効性について～

第二部：大規模災害時における自治体間支援の体制をより機能させるためには

コーディネーター：大西 裕(神戸大学大学院法学研究科教授・平成24～27年度公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構政策コーディネーター)

パネリスト：大久保 博章(兵庫県防災監・関西広域連合広域防災局長)

善教 将大(関西学院大学法学部准教授)

曾我 謙悟(京都大学公共政策大学院教授)

二上 洋介(宮城県石巻市総務部次長)

待鳥 聡史(京都大学大学院法学研究科教授)

梓谷 徳彦(和歌山県串本町総務課副課長(防災・防犯グループ長))



平成27年度ひょうご震災記念21世紀研究機構研究成果報告会 巨大災害と政治のあり方シンポジウム

～災害多発時代を迎え「国難」となる巨大災害にどう備えるか～を開催します

【報告会内容】

▶日 時＝平成28年8月23日(火) 13時30分～16時30分

▶場 所＝ラッセホール 2Fローズサルーン

▶内 容＝(1)平成27年度研究成果報告

大震災復興過程の比較研究～関東、阪神淡路、東日本の三大震災を中心に～

講 師：御厨 貴(東京大学名誉教授・公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構研究統括)

(2)パネルディスカッション

テ ー マ：大災害と政治のリーダーシップ

▶定 員＝120人(先着順)

▶参加費＝無料

▶申込期限＝平成28年8月9日(火)

▶申し込み＝(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究調査本部

TEL 078-262-5570 FAX 078-262-5593 Eメール research@dri.ne.jp

HAT神戸 掲示板

兵庫県立美術館

特別展

「生誕130年記念 藤田嗣治展—東と西を結ぶ絵画」

おかつ頭に丸眼鏡で有名な藤田嗣治(1886—1968)の生誕130年を記念した回顧展を開催します。没後長らく遺族のもとに保管され、ランス市に寄贈された800余点の中から選り抜かれた作品を中心に国内外の主要なコレクションを網羅した本展は、複雑にして多面的な要素を持つ藤田芸術の神髄に触れる絶好の機会となります。初期から晩年までの作品を時代を追って紹介し、油彩、水彩、素描合わせて約120点を展示します。

■会期=9月22日(木・祝)まで
 ■観覧料=一般1,400円、大学生1,000円、高校生・65歳以上700円、中学生以下無料



〈自画像〉1929年 東京国立近代美術館蔵
 ©Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2016 E2169

県美プレミアム

《小企画》美術の中のかたち—手で見る造形 つなぐ×つつむ×つかむ：無視覚流鑑賞の極意

平成元年度に始まった「美術の中のかたち—手で見る造形」展。作品に触れることで、視覚に障がいがある人々に広く作品鑑賞の機会を提供し、また視覚に偏りがちな美術鑑賞のあり方を



やなぎみわ(案内嬢の部屋B1) 1997年

問い直すことを目指した恒例企画です。27回目となる今回は、全盲の文化人類学者で国立民族学博物館准教授の広瀬浩二郎さんによる音声ガイドで、視覚を使わずに作品を鑑賞します。あなたの手のひらから、「目に見えない」作品の魅力を探る新しい美術鑑賞が始まります。

《特集》時間をひらく—新収蔵品を中心に

作品の中のさまざまな時間をテーマに、昨年度以降、新たに当館のコレクションに加わった作品群を中心に構成。さらに、神戸ゆかりの洋画家、金山平三と小磯良平をはじめとする当館所蔵品のハイライトもご覧いただけます。

■会期=11月6日(日)まで
 ■観覧料=一般510円、大学生410円、高校生 260円、中学生以下無料
 ※障がいのある方とその介護の方1人は無料

◎休館日=月曜日(9月19日(月・祝)は開館、翌20日(火)は休館)
 ◎開館時間=10時~18時(金曜、土曜は20時まで)
 ※入場は閉館の30分前まで
 TEL 078-262-0901(代) <http://www.artm.pref.hyogo.jp/>

JICA関西

◆食べることから始める国際協力! JICA関西食堂の月替りエスニック料理

JICA関西1階の食堂(カフェテリア方式)は、どなたでもご利用できます。完全禁煙で、安心して料理を楽しめ、子供椅子もご用意していますので、お子様連れも歓迎です。大好評の月替りエスニック料理は7月にブラジル料理、8月にケニア料理をご用意します! ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

メニューの詳細と写真については、
 こちら→ <http://www.jica.go.jp/kansai/office/restaurant/index.html>
 ■営業時間=(昼)11時半から14時まで
 (夜)17時半から21時まで



写真は6月のチュニジア料理

※各終了30分前ラストオーダー
 ※年中無休(年末年始を除く)
 ◆8月21日(日)に、JICA関西夏祭りを開催予定!

◎問い合わせ
 JICA関西(独立行政法人国際協力機構関西国際センター)市民参加協力課
 TEL 078-261-0384 FAX 078-261-0357
 Eメール jicaksic-event@jica.go.jp
 夏祭り等の詳細はJICA関西ホームページをチェック!
 →<http://www.jica.go.jp/kansai/>

日本赤十字社 兵庫県支部

活動資金にご協力をお願いします

2度にわたる震度7の激震と余震が続く熊本地震では、熊本県を中心とした各地に甚大な被害をもたらしました。

日本赤十字社兵庫県支部では、2度目の震度7の地震が発生した4月16日午前9時、熊本県へ向け医療救護班を出勤させ、医療ニーズ調査や避難所アセスメントなどの活動を行いました。その後も引き続き救護班を派遣し、仮設診療所や被災地の巡回などで、被災された方々の診療や衛生・健康管理、こころのケアなどにあたりました。

このような赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金によって支えられています。



阪神・淡路大震災でいただいた全国からのご支援に、「今度は私たち兵庫から!!」との思いで、被災された方々に寄り添い活動を行っています。

皆さまからお寄せいただいた資金は、熊本地震災害の被災者支援をはじめ、今後起こり得る災害への備えなど、皆さまのいのちと健康を守る活動に生かしてまいります。

■ご協力方法(郵便局・ゆうちょ銀行の場合)
 口座記号番号 01110-0-1136
 口座加入者名 日本赤十字社兵庫県支部
 ※窓口で取り扱いの場合、振込手数料は無料です

平成28年度、新たな災害救護拠点を整備!!



大規模災害に備え、全国各地の被災地への支援や全国からの受援の拠点となる施設の整備を計画しています(場所:三木市)。

◎お問い合わせ
 TEL 078-241-8921

あった、あった、ここや。
 えらい大きい会社やなあ、ドキドキしてきたわ。
 あかん、鎮まれ心臓
 営業マンに弱気は禁物、最初が肝心や。

初めて出会った
 人と人とを
つなぐ。
 それが、
 わたしたちのしごとです。

「はじめまして。カワサキと申します」
 名刺を交換したらお付き合いの始まり。
 小さな紙片からどれだけ仕事広がるか、
 さあ、ガンバルぞお〜!

兵庫県こころのケアセンター

平成28年度
第1期「こころのケア」研修の受講生募集

兵庫県こころのケアセンターでは、「こころのケア」に携わる保健・医療・福祉・教育等の分野で活動されている方を対象に、各種課題への対処法等について学ぶ「専門研修」を実施しています。

9月から11月にかけて実施する研修の受講生を次のとおり募集しています。ぜひご参加ください。

区分	コース名	期間	定員	対象	受講料(資料代等)
専門 研修	①悲嘆の理解と遺族への支援	8/31(水) 9/1(木) (2日間)	35人	医療・保健・福祉・心理臨床の分野で活動する者及び遺族支援に携わる者	3,500円
	②DV被害者のこころのケア	9/21(水)	35人	母子自立支援員、女性相談員(婦人相談員)、婦人保護施設職員、母子生活支援施設職員、家庭訪問相談員、保健師、福祉事務所職員、こども家庭センター(児童相談所)職員等DV被害者相談支援関係職員	2,500円
	③被災者や被害者をささえるためにーサイコロジカルファーストエイドを学ぶー	10/6(木) 7(金) (2日間)	25人	学校・社会福祉協議会・保健師・病院等の精神保健福祉関係者	4,000円
	④犯罪被害とこころのケア	10/13(木) 14(金) (2日間)	25人	保健・医療・福祉・教育・司法・警察・消防関係等職員	4,000円
	⑤被害者や被災者の中長期の回復を支えるこころのケアーサイコロジカルリカバリースキル(SPR)ー	11/10(木) 11(金) (2日間)	35人	医師・臨床心理士・看護師・保健師・精神保健福祉士・その他関連領域の関係者	3,500円

▶研修概要

▶場所=兵庫県こころのケアセンター

▶申し込み方法=受講申込書(※)に必要事項を記入の上、郵送・FAX・Eメールで下記までお送りください。申込者多数の場合は、各研修開始日の1カ月前(前月の同じ日)の17時を期限として、初めて受講の方を優先の上、抽選で決定します。

※当センターホームページからダウンロードできます

●申し込み・問い合わせ

兵庫県こころのケアセンター 研修情報課

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2

(阪神「春日野道」駅から南へ徒歩約8分)

TEL 078-200-3010 FAX 078-200-3017

Eメール kensyu@j-hits.org http://www.j-hits.org/

学術交流センター

「ひょうご講座2016」開催のご案内

当機構では、兵庫県内の大学や研究機関等と連携して、専門的な大学教養レベルの生涯学習講座「ひょうご講座2016」を9月(一部8月29日)から開催します。

数ある生涯学習の中でも、特に1つの科目・テーマを掘り下げて幅広い視点から考察するのが本講座の特徴です。時代の潮流を踏まえたテーマで

6科目を実施します。

■概要等

▶時間=平日(月曜・火曜・木曜・金曜)18時30分~20時

▶日数=10回(1回あたり90分講義。週1回、同一曜日に実施)

▶受講料=1万5,000円(1科目)

▶定員=各科目約40人

▶開講場所=兵庫県民会館(地下鉄「県庁前」駅下車すぐ)

▶開設科目

分野	科目名	日程
芸術	兵庫の美の遺産ー美術品・コレクター・美術館ー	8/29(月)~11/21(月)
国際理解	膨張する中国を取り巻く諸問題	9/5(月)~11/21(月)
政治・経済	エコノリーガル・スタディーズのすすめ	9/6(火)~11/8(火)
生命科学	健康科学を楽しく学ぶ	9/13(火)~11/15(火)
心理	「絵本」や「ものがたり」を通じて「魂」に触れる~続編~	9/1(木)~11/17(木)
天文	続・宇宙はどんな世界?	9/2(金)~11/4(金)

<注目の科目>

兵庫の美の遺産ー美術品・コレクター・美術館ー

・今、日本の政治、経済、文化は東京に一極集中していますが、100年前の経済、芸術の中心は関西で、実業家が美術品、茶道具を持ち寄り、阪神間で美術談義や茶会を楽しみました。講義では、わが兵庫が明治、大正、昭和初期まで日本の近代美術のコレクター、美術品、美術館のバイオニアであった具体例を示しながら各界の専門家が紹介します。

エコノリーガル・スタディーズのすすめ

・社会にはさまざまな解決すべき問題があり、他の学問の中で個別に議論されていますが、学問が異なると、問題関心や分析方法、時には価値観まで異なり、たどり着く答えも変わってくるケースが多いです。こうした中、神戸大学では、社会科学系教育研究府でエコノリーガル・スタディーズの教育・研究をしてきました。そのような複眼的思考について、法学者または経済学者が講義を行います。

健康科学を楽しく学ぶ

・「健康でありたい」「病気の原因を知りたい」「薬って効くの?」「アミノ酸は役に立つの?」「健康食品っていいの?」「お酒は百薬の長というけど本当?」「遺伝子で病気になるかどうか分かるの?」といった初歩的なことから最先端なことまで、健康や病気を分子のサイズや挙動でお教えます。

続・宇宙はどんな世界?

・夜空を見上げてみましょう。あなたが見ているあの星の周りには人間みたいな生命がいるのでしょうか。宇宙の果てはどのようになっているのでしょうか。今話題の「重力波」で宇宙を観測すると何が見えてくるのでしょうか。この講義を受ければ、夜空の見方がきっと変わるでしょう。

■募集期間

各開講日の1週間前まで。ただし、先着順に受け付け、定員になり次第締め切ります(インターネット・FAX・郵送で受け付け)。

●問い合わせ

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
 学术交流センター 交流推進課
 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
 TEL 078-262-5713 FAX 078-262-5122
<http://www.hyogo-al.jp/kouza/>

ひょうご講座



兵庫自治学会のご案内

兵庫自治学会とは、県政及び県内市町行政の振興と地域の発展のために、行政や地域に関するさまざまな課題について研究し、課題解決のための政策形成能力の向上と、組織や職種を超えた幅広いネットワークづくりを目指している団体です。自らの視野を広げるため、一歩踏み出してチャレンジしてみませんか？

■入会するとこんなメリットが！

- ①研究発表大会での発表・ディスカッションを通じて、興味のある行政・地域課題についての研究に取り組み、学識者のアドバイス・助言を受けることができます！
- ②グループでの研究やセミナー等を企画・実施しようとする人は、資金面で援助が受けられます！研究に関しては指導・助言を行う学識者のあっせんも受けられます！
- ③日頃の研究成果を論文として投稿でき、審査を受けて学会誌に掲載されます！
- ④会報、メルマガ、ホームページ等を通じて、研究発表大会・セミナー・他の会員が主催するイベント等の情報を定期的に受け取ることができます！
- ⑤学会事業への参加を通じ、興味を同じくする地方自治体職員、NPO関係者、学識者、さらには米国の行政関係者らとの、人的ネットワークを広げることができます！

■学会の主な事業

(1)研究発表大会(平成28年度大会概要)

- ▶日時＝10月15日(土)10時45分～18時
- ▶場所＝兵庫県立大学神戸商科キャンパス(神戸市西区学園西町8-2-1)
大会テーマ:すべての人が活躍できるこれからの地域社会づくり
- ▶内容＝〈午前〉全体会(講演)
講師 上田 恵陶奈
(野村総合研究所ICT・メディア産業コンサルティング部、未来創発センター2030年研究室兼務、上級コンサルタント)
- 〈午後〉分科会
会員等による研究発表及び参加者との意見交換、交流会
※参加申し込みの受け付けは9月から開始します



前回(平成27年度)の研究発表大会分科会の様子

(2)グループ研究応援事業

グループで行うさまざまな地域課題に関する研究活動に、上限10万円まで助成します。

(3)コラボレーション・プロジェクト

会員が自主的に企画・開催する地域課題・行政課題等に関するセミナー等に、上限10万円まで助成します。

(4)兵庫自治学会セミナー

行政・地域課題をテーマにしたセミナーを県内地域で開催します。

(5)論文の自主投稿制度

会員からの自主投稿論文を募集しており、審査を受けた論文が掲載されます。

(6)全米公共・行政学会(ASPA)との交流

米国の行政実務家や学識者などで構成され、行政に関する学術の向上促進を目的とするASPAとの交流を行っています。

■会員になるには

年会費2,000円

兵庫県職員、県内市町職員、県内に在住または在勤の学識者・NPO職員・個人ならどなたでもご入会いただけます(会員数約620人)。

●問い合わせ

兵庫自治学会事務局

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 学术交流センター内

TEL 078-262-5714 FAX 078-262-5122

Eメール gakujutsu@dri.ne.jp <http://hapsa.net/>

「21世紀文明研究セミナー2016」開催のご案内

当機構の研究成果を広く県民に還元するとともに、HAT神戸における国際関係機関等の集積を生かして、阪神・淡路大震災が提示した近代文明の課題について幅広く議論を深めるため、高度で専門的な知識を求め研究者、行政・企業関係者、NPO関係者、大学院生、一般県民等を対象とするセミナーを平成18年度から毎年開催しており、多くの方々にご参加いただいています。

今年度も、「安全安心」「共生社会」「防災」「環境」「芸術」の5つの分野で各6回、経験豊富な講師によるセミナーを予定しています。関心のある講座だけ受講することもできますので、ぜひご参加ください。

▶期間＝平成28年10月5日(水)～平成29年3月22日(水)の水曜及び金曜の13時30分～15時

▶場所＝人と防災未来センター東館、兵庫県立美術館(芸術分野のみ)

▶予定テーマ

安全安心	減災社会に向けての新しい視座
共生社会	人口減少、少子・高齢化社会におけるライフスタイルと社会保障～地域におけるクオリティ・オブ・ライフの実現に向けて～
防災	災害への備え
環境	地球温暖化と暮らし
芸術	挑戦する美術館－展覧会のさまざまなこころみ

▶定員＝各講座約30人 ※先着順。1講座から申し込み可能

▶対象＝研究者、行政・企業関係者、NPO関係者、大学院生、一般県民等

▶受講料＝1講座につき500円

▶募集予定時期＝8月末ごろ

※詳細は当ホームページに掲載します

http://www.hemri21.jp/exchange_center/index.html

平成28年度「震災資料のメッセージ」を展示中

西館3階のスポット展示「震災資料のメッセージ」の展示を入れ替えました。平成28年度のテーマは「1.17と鉄道・道路」です。暮らしに欠かせない「道」が震災によってどのような影響を受けたのか、所蔵資料の紹介を通して振り返ります。

第1期「鉄道」では、阪急電鉄3109車両前面扉と、通勤に使用していたJRの定期券を展示しています。阪急電鉄3109車両は、平成7年1月17日の地震発生時に阪急「伊丹」駅に停車しており、伊丹駅は地震によって車両と線路が下の駅舎を押しつぶすように崩れました。

通勤定期は当時JR「垂水」駅で発行されたもので、指定区間が震災によって不通だった期間分を手書きで延長してあります。この2点の資料は、どちらも昨年度に寄贈いただいたものです。

第2期「道路」では、道路の交通量を規制するために当時配布された復興物資輸送車両許可証と、阪神高速道路の損壊した部分で宙づり状態になったバスの写真パネルを紹介します。

第1期は10月30日(日)まで、第2期は11月1日(火)から平成29年3月26日(日)まで開催予定です。展示ケースの前では、平成25年度から4年分の「震災資料のメッセージ」の展示内容をまとめた小冊子を配布しています。



震災当日の阪急「伊丹」駅（センター所蔵写真）



JRの通勤定期券



阪急電鉄3109車両前面扉



第1期展示の様子

平成28年度 1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」を実施

学校や地域において、防災学習に主体的に取り組む児童、生徒等の先進的な活動を顕彰する平成28年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」を兵庫県と毎日新聞社の共催で実施します。応募いただいた中から優秀な活動を選考し、平成29年1月8日(日)に兵庫県公館で表彰式・発表会を開催します。



平成27年度グランプリを受賞した愛知県半田市立亀崎小学校



27年度の受賞者

【対象部門】

①小学生 ②中学生 ③高校生 ④大学生
(その他:自主防災組織・NPO等からも各部門に応募可)

【対象活動】

自然災害から命と暮らしを守るための防災教育や防災活動の取り組み。応募は学校、クラス、サークル活動、ボランティア活動、地域などの単位で。
※他薦歓迎

【対象期間】

平成27年10月1日～29年3月31日
(活動予定も含む)

【応募締め切り】

平成28年9月30日(金) (消印有効)

【応募方法】

■下記のURLの申込フォームから申し込みいただくか、応募用紙をダウンロードの上、郵送してください。
<http://np0-sakura.net/bousai-koushien/>

【応募用紙の配布】

下記の機関で応募用紙を配布しています。

- ・兵庫県復興支援課
TEL 078-362-9984
- ・(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
人と防災未来センター事業部事業課
TEL 078-262-5068

【応募先】

〒663-8201
西宮市田代町16-8 パルティーレN棟西号室
ぼうさい甲子園事務局 (特非)さくらネット
TEL 0798-64-5829 FAX 0798-65-5254
Eメール bousai_koushien@yahoo.co.jp

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸1-5-2

観覧案内・予約 / TEL 078-262-5050 <http://www.dri.ne.jp/>

開館時間 9時30分～17時30分(入館は16時30分まで)
※7月～9月は9時30分～18時(入館は17時まで)
※金曜、土曜は9時30分～19時(入館は18時まで)

入館料金

大人	大学生	高校生	小・中学生
600円(480円)	450円(360円)	300円(240円)	無料

※()は20人以上の団体料金
※障害者、65歳以上の高齢者は上記の半額

休館日

毎週月曜(月曜が祝日の場合は翌平日)、12月31日と1月1日
※ゴールデンウィーク期間中(4月29日から5月6日まで)は無休
※資料室の開室日についてはホームページでご確認ください

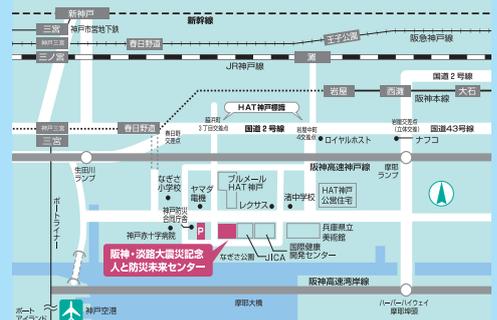
交通

鉄道 ・阪神電鉄「岩屋」駅、
「春日野道」駅から徒歩約10分
・JR「灘」駅南口から徒歩12分
・阪急電鉄「王子公園」駅
西口から徒歩約20分

バス ・三宮駅前から約15分

車 ・阪神高速道路神戸線
「生田川」ランプから約8分
・阪神高速道路神戸線
「摩耶」ランプから約4分
・阪急・阪神「神戸三宮」駅、JR「三ノ宮」駅から約10分

●有料駐車場あり ●バス待機所(予約制/無料)あり



平成28年度春期 災害対策専門研修マネジメントコースの実施結果

当センターでは、地方自治体職員などを対象とした「災害対策専門研修」マネジメントコースを平成14年度から実施しています。当該コースは、災害対策実務の中核を担う人材の育成を目的とし、阪神・淡路大震災の教訓を学習することを重点としつつ、最新の研究成果も取り入れ、能力に応じた体系的、実践的なカリキュラムです。平成27年度末で2,439人の方々を受講され、全国の自治体等から高い評価を得ています。春期研修においては、ベーシック、エキスパートA及びエキスパートBの3コースを実施しました。

ベーシックでは、経験年数の浅い防災・危機管理担当部局の職員を対象に、国の災害対応の動向について内閣府の小川参事官に講義いただくほか、災害の発生に関する理論や阪神・淡路大震災の経験を踏まえた災害対策のあり方など、基礎的な事項についての体系的な講義や、センターの資料展示を活用した演習などを実施しました。復興まちあるきでは、スマホアプリを利用して震災時や復興期の様子と現在を比較しながら現地を視察しました。

エキスパートA及びエキスパートBでは、防災・危機管理担当部局の職員を対象として、大規模災害発生時に各種の対応が同時並行的に展開される状況を横断的・総合的に捉え、これに対処する能力を向上させることを目的に研修を実施しました。目標管理型災害対応の考え方を身に付ける演習、災害対応時要配慮者への対応をテーマとした講義などを行いました。

研修終了後のアンケートでは、「災害時に住民に対して依頼するには、まず自分ができていなければならないことを痛感した。歴史と災害を絡めて考えることの重要性が理解できた」「災害対応業務を行う上で、目標を設定して対応方針を立てることが円滑な対応に資することを理解できた」「災害対応に必要な機能を踏まえた災害対策室のレイアウトを実際に作成することで、空間設計の重要性が理解できた」などの意見が寄せられました。さらに、受講者間の交流を通じて防災担当者の全国的なネットワークが一層強まりました。



「災害史と社会」の講義(6月2日ベーシック)



復興まちあるき(6月2日ベーシック)



災害対応ワークショップ(6月10日エキスパートA)



災害対策本部の空間構成設計演習(6月15日エキスパートB)

コース名	日程	参加人数	修了者
ベーシック	5/31(火)~6/3(金)	50人	50人
エキスパートA	6/7(火)~10(金)	27人	27人
エキスパートB	6/14(火)~17(金)	27人	27人
合計(延べ)		104人	104人

※なお、秋期(10月)に、エキスパートA、エキスパートB及びアドバンス・防災監／危機管理監の3コースを予定しています



Hem21NEWS
vol.58

平成28年7月発行

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2(人と防災未来センター)
<http://www.hemri21.jp/>

当機構は、以下の組織で構成しています。

●管理
TEL 078-262-5580
FAX 078-262-5587

●研究調査本部
TEL 078-262-5570
FAX 078-262-5593

●人と防災未来センター
TEL 078-262-5050
FAX 078-262-5055

●学術交流センター
TEL 078-262-5713
FAX 078-262-5122

●こころのケアセンター
〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2
TEL 078-200-3010
FAX 078-200-3017

ニュースレターに関するご意見・ご感想を機構までお寄せください